

Spine surgery and Related Research (SSRR)

第 22 回 (2023 年第 3 回) 編集委員会
令和 5 年 9 月 11 日 19:00~ zoom 開催

参加者

担当理事: 筑田博隆

Editor-in-Chief: 千葉一裕

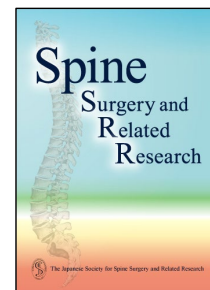
委員長: 折田純久

委員: 岡田誠司, 川口善治, 中嶋秀明, 根尾昌志, 橋爪洋, 宮腰尚久, 山下一太, 渡邊慶

アドバイザー: 長谷川和宏, 加藤真介

杏林舎: 田村, 岡田

欠席: 高橋寛



1. 確認事項

前回議事録案の確認

2. 審議・確認事項

IF 維持・向上について (報告事項 3-3 と並行して審議)

3. 報告事項

3-1 Editor-in-Chief 交代について (筑田理事, 千葉委員)

2024 年 1 月より, JOS の Chief が高橋先生より千葉先生に交代することに決定した。

それに伴い SSRR の Editor-in-Chief を交代する必要がある。

参加委員の満場一致による議決により川口善治委員を理事会に推薦することとなった。今後理事会での承認を得てから, 1 月からの就任となる。

川口先生より「IF 獲得を実現し, これからは IF を Up させるようにみんなで頑張っていきましょう」とのお言葉をいただいた。

3-2 広報活動に係る報告 (大谷委員 クオトミー (株))

HP 内のコンテンツの紹介 (Award 受賞者のインタビューなど) があった。

SSRR で反響があり, 他のジャーナルからも声をかけてもらえるようになった。

今後は論文掲載調整の段階から著者にコンタクトを取り早めに活動を行うほか, アニメーションなどの Video abstract を作ることも検討している。

3-3 SSRR 編集部からの報告 (杏林舎)

①投稿状況

IF を取得してから海外からも投稿数が伸びており、24 編/月のペースで投稿されている。Review 日数は平均 14 日、Accept までの平均日数は 46 日と非常に短期間を維持できている。

②依頼論文・特集号状況

頸髄症のガイドライン要約版の掲載方法について、IF 向上戦略の一環として一本の論文として扱い、また年初にまとめて掲載を扱う方針とすることが確認された。

③IF について

2023 年 8 月時点での暫定 IF 値は 0.7 であり、現在の被引用頻度が年末まで継続すると仮定すると、2024 年に算出される 2023 年算定 IF は 1.2 より低下することが予想される。2024 年以降の IF 上昇を図るための対策として、現段階から被引用数の増加、採択率をさらに厳格にする（過去 2 年間に accept された論文の本数が分母となるため、2023 年 IF には 1 号あたりの掲載数コントロールの意義は低い）ことが挙げられた。その他の方針として Invited Review article を依頼する著者候補リストの再追加と拡充、会員への配信、評議員への今後の方針についての配信と説明（査読の厳格化、被引用の促進）、HP リニューアル、掲載本数の制限などが挙げられる。

4. 次回会議について

次回会議は 1 月を予定。Award 選考委員会を中心とする。